

第12期定時株主総会

株式会社新生銀行
平成24年6月20日



事業報告

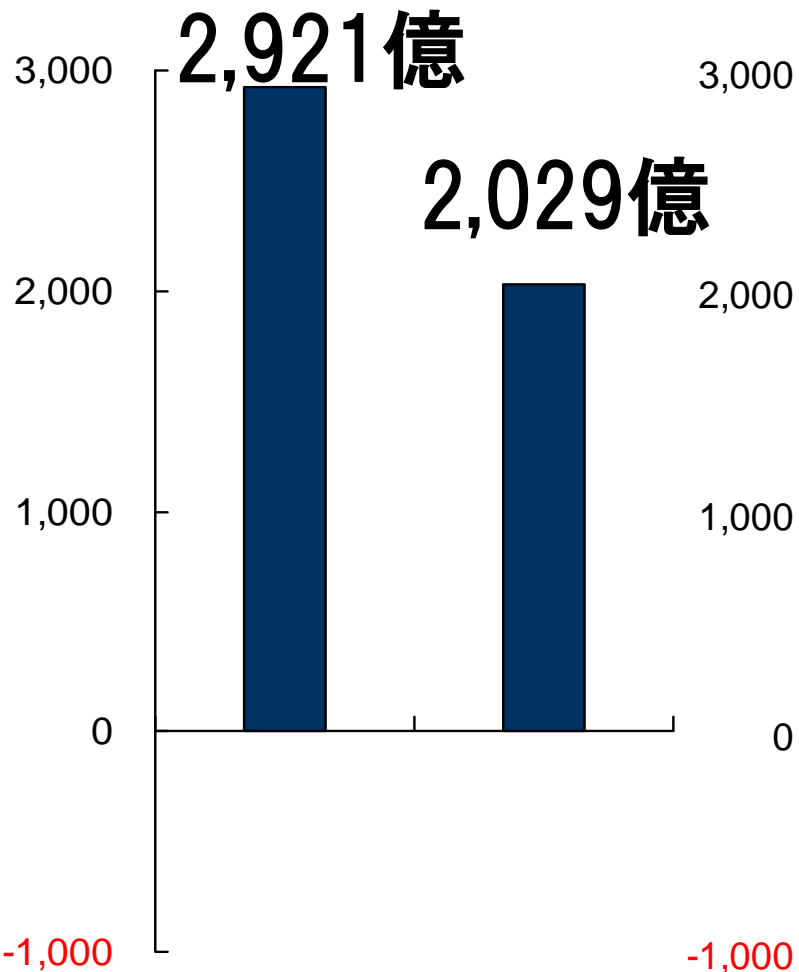
Fiscal Year 2011 Financial Results

平成23年度連結業績の概要：

非経常的な利益の減少により、業務粗利益および実質業務純益は減少

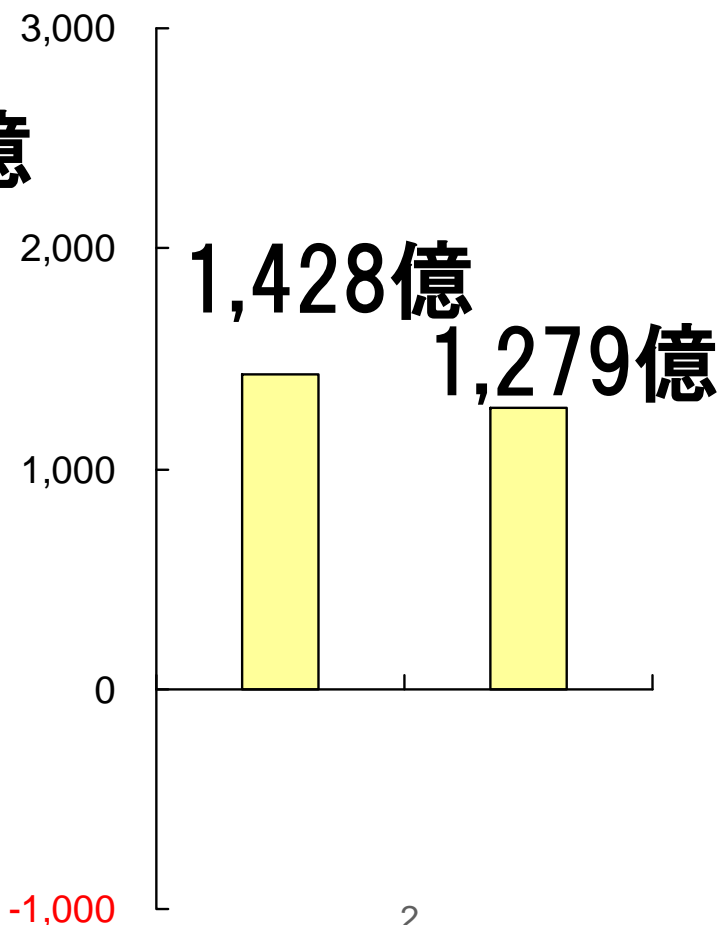
業務粗利益

平成22年度 平成23年度



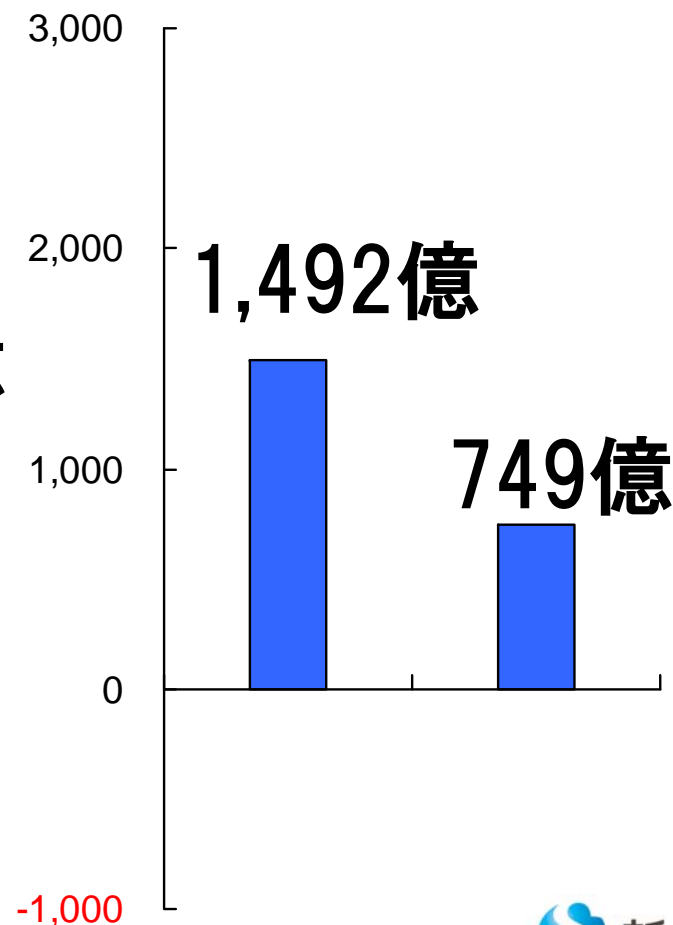
経費

平成22年度 平成23年度



実質業務純益

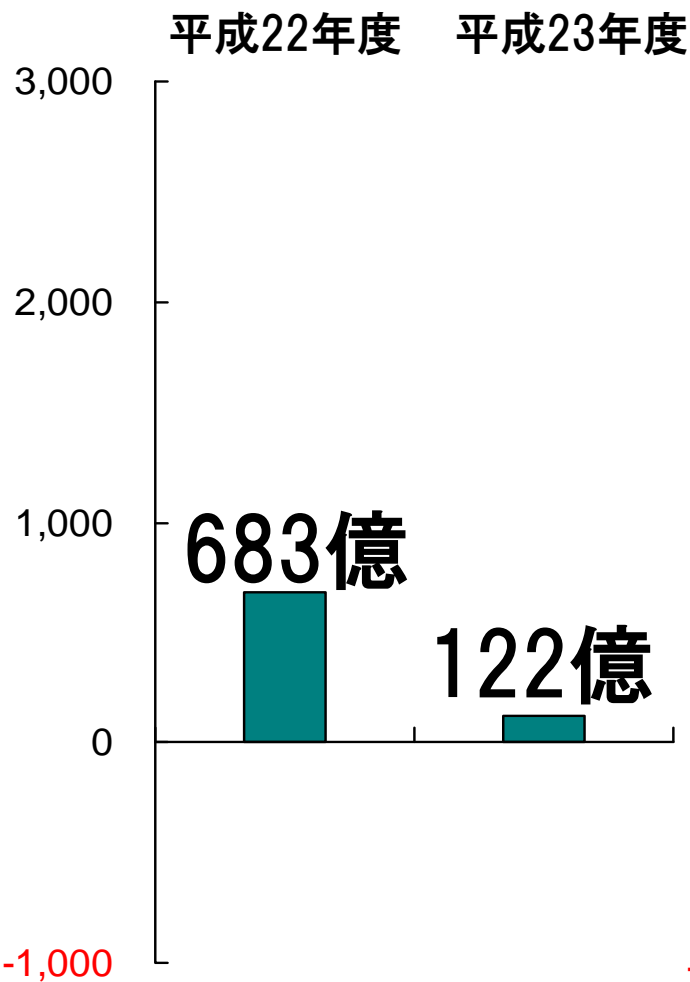
平成22年度 平成23年度



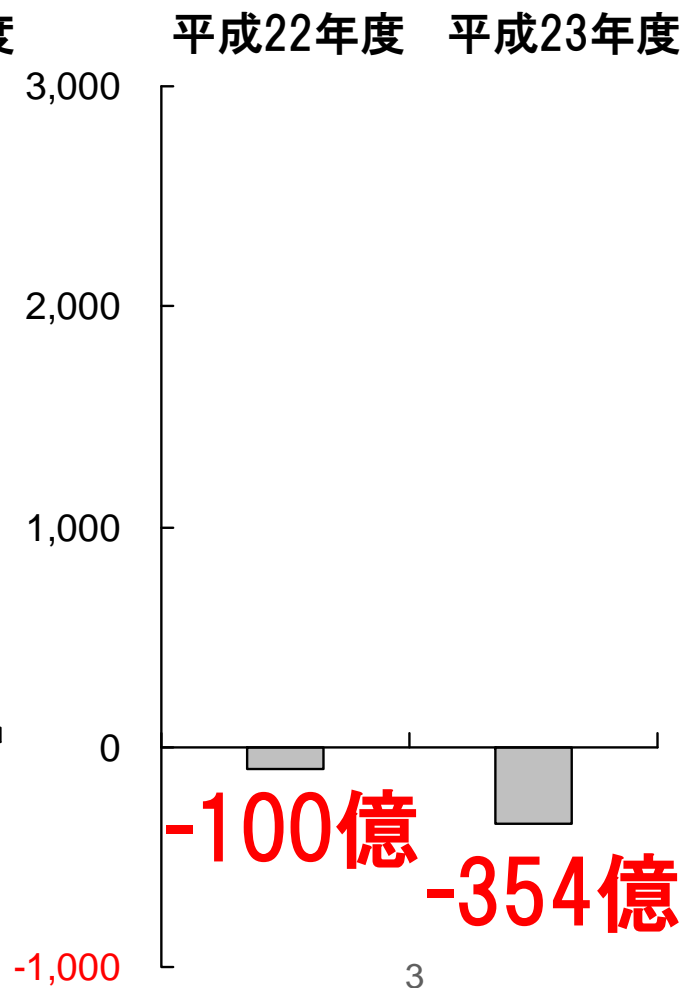
平成23年度連結業績の概要:

その他損失が増加するも、与信関連費用の減少が奏功し、黒字を計上

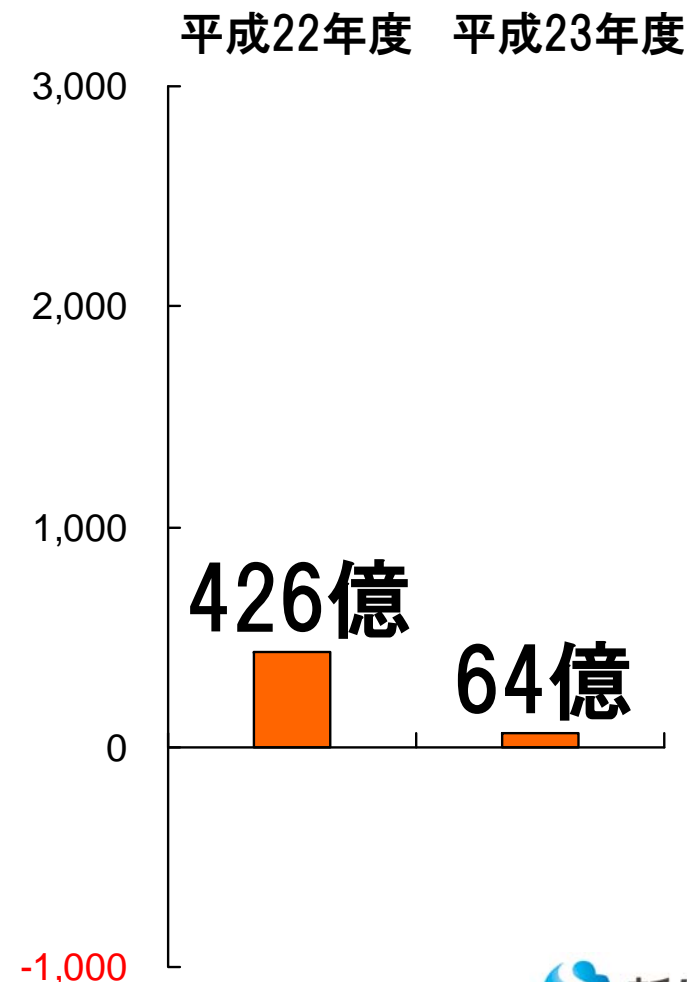
与信関連費用



その他損失



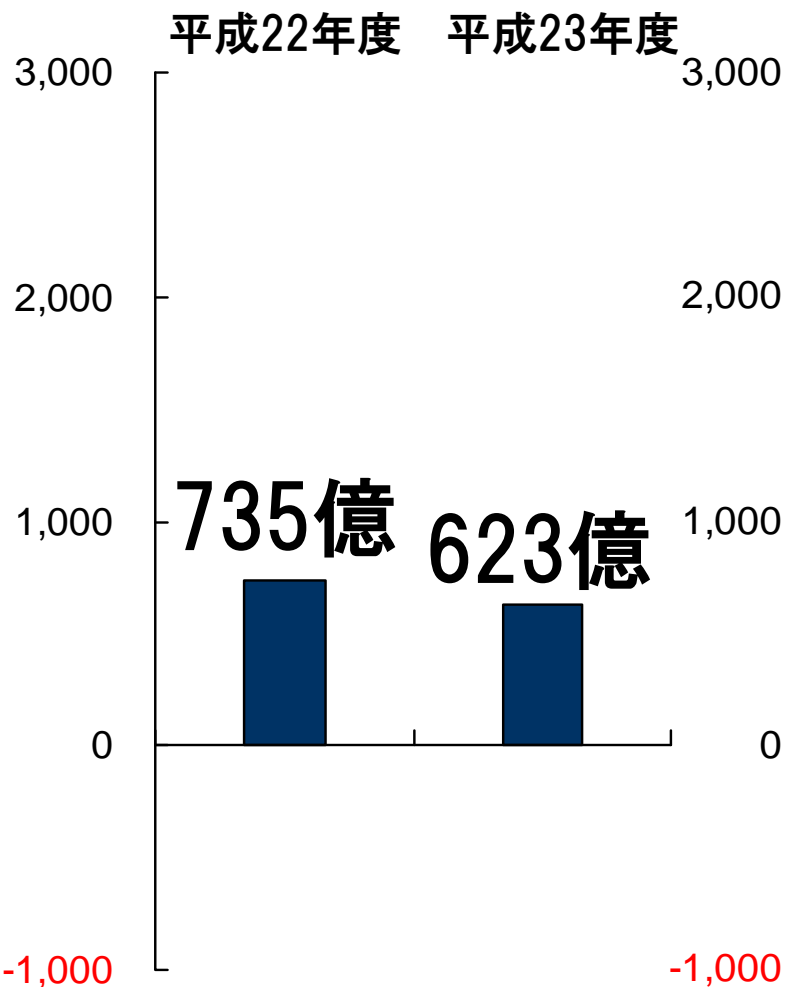
当期純利益



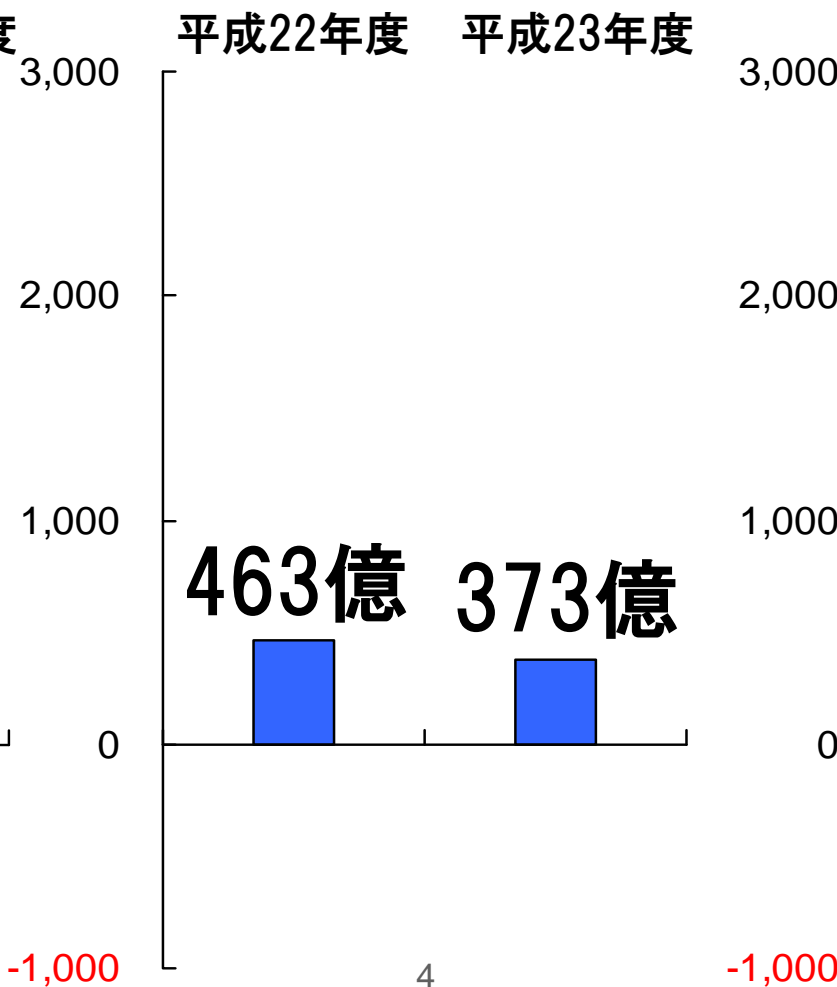
法人部門:

顧客基盤の再構築の推進、与信関連費用の減少により、業績は堅調に推移

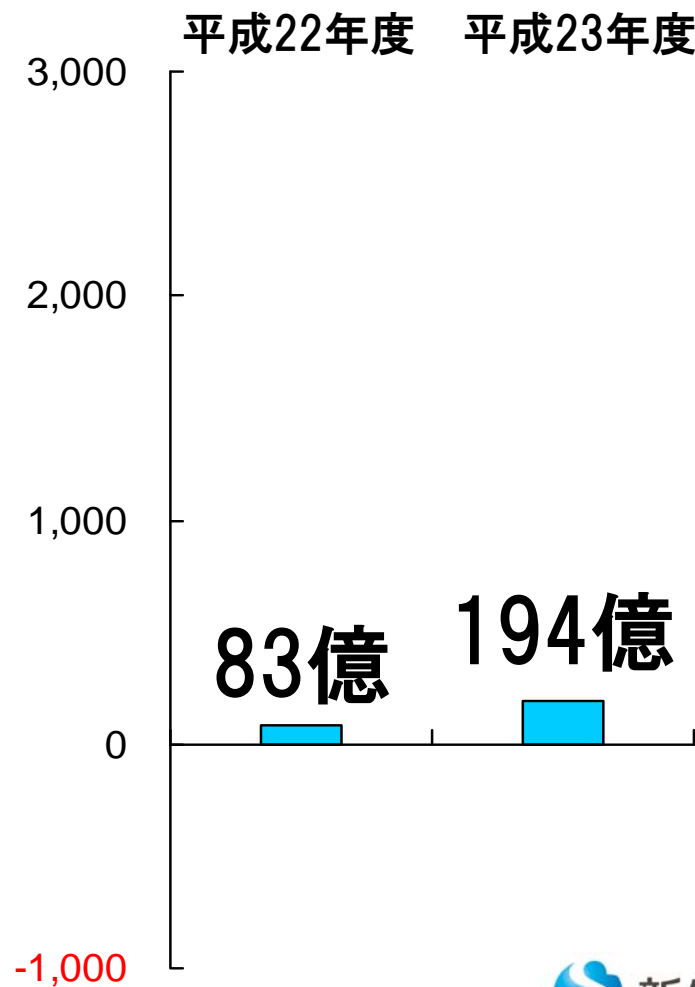
業務粗利益



実質業務純益



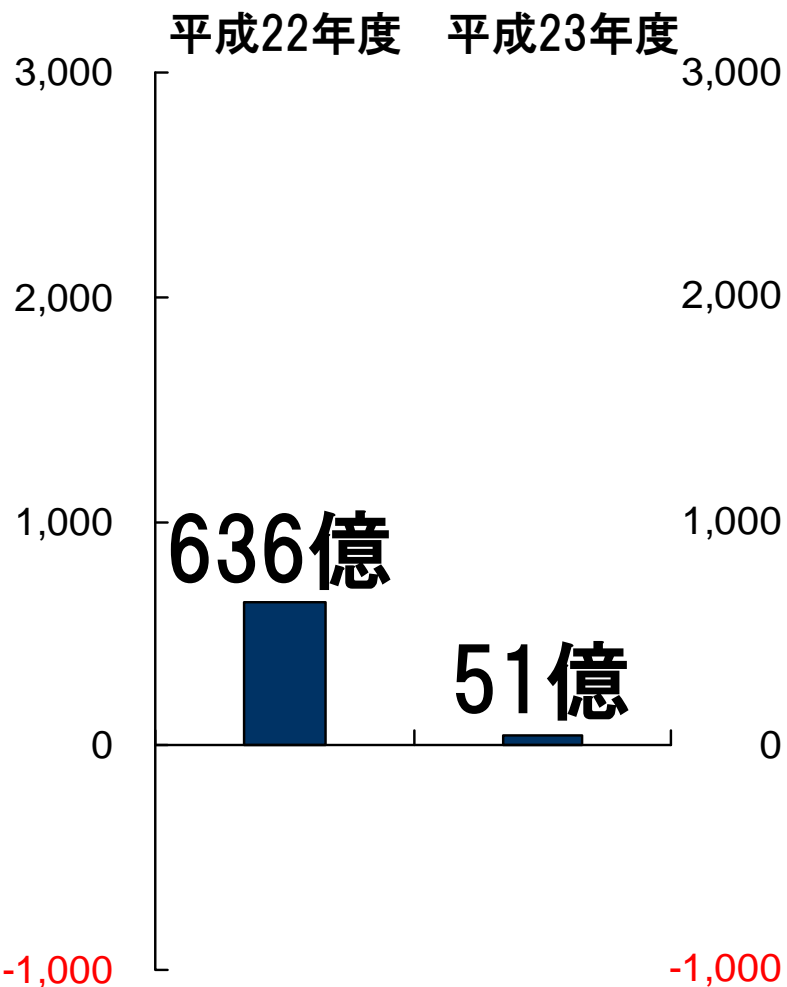
与信関連費用加算後 実質業務純益



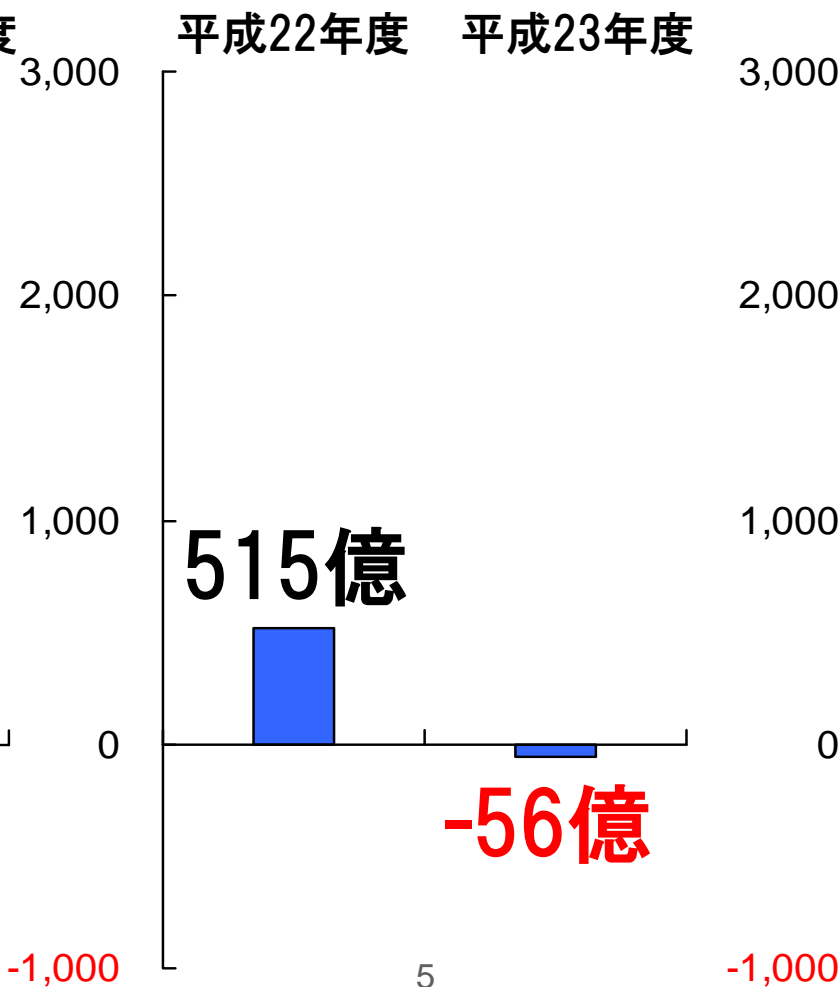
金融市場部門:

金融市場の停滞、非経常的な利益の減少により、減収減益

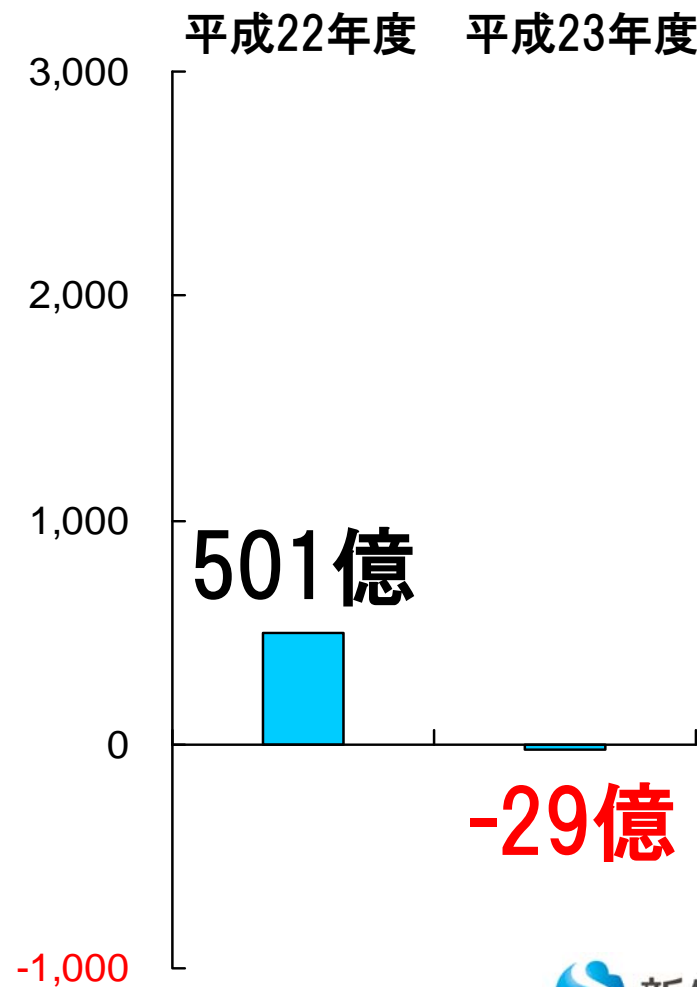
業務粗利益



実質業務純益



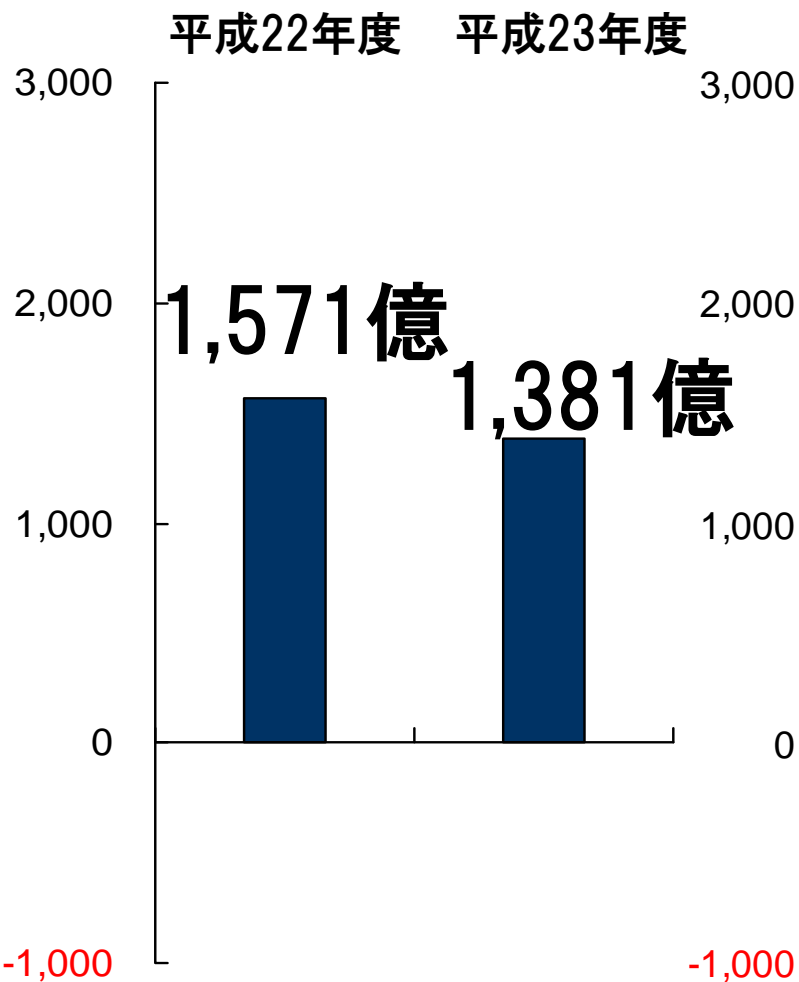
与信関連費用加算後 実質業務純益(損失)



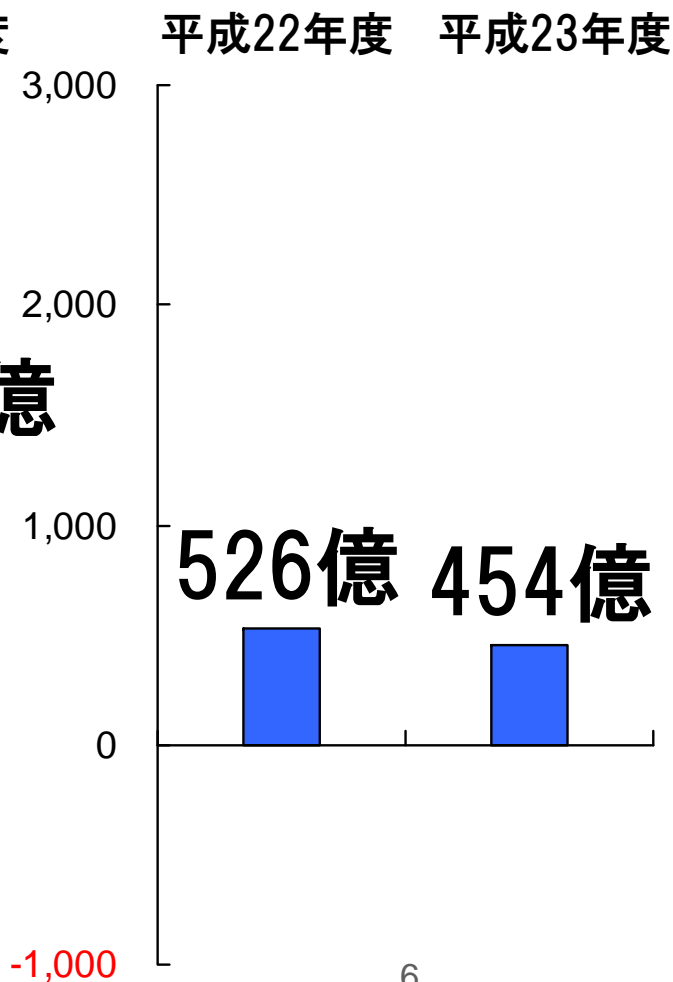
個人部門:

業務粗利益の減少を、与信関連費用の減少で相殺し、減収増益

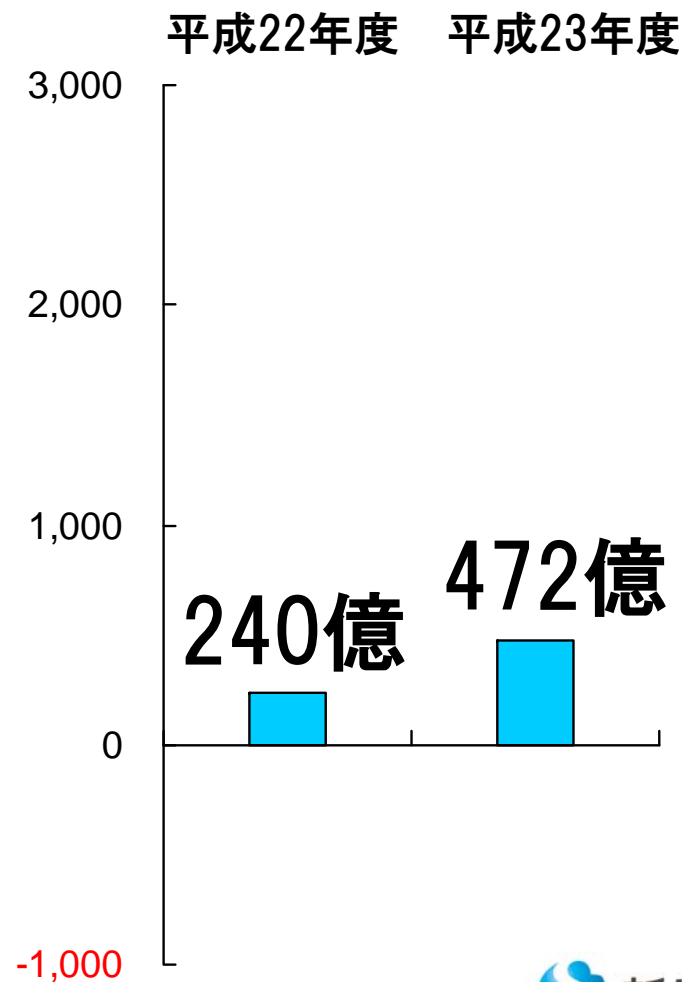
業務粗利益



実質業務純益



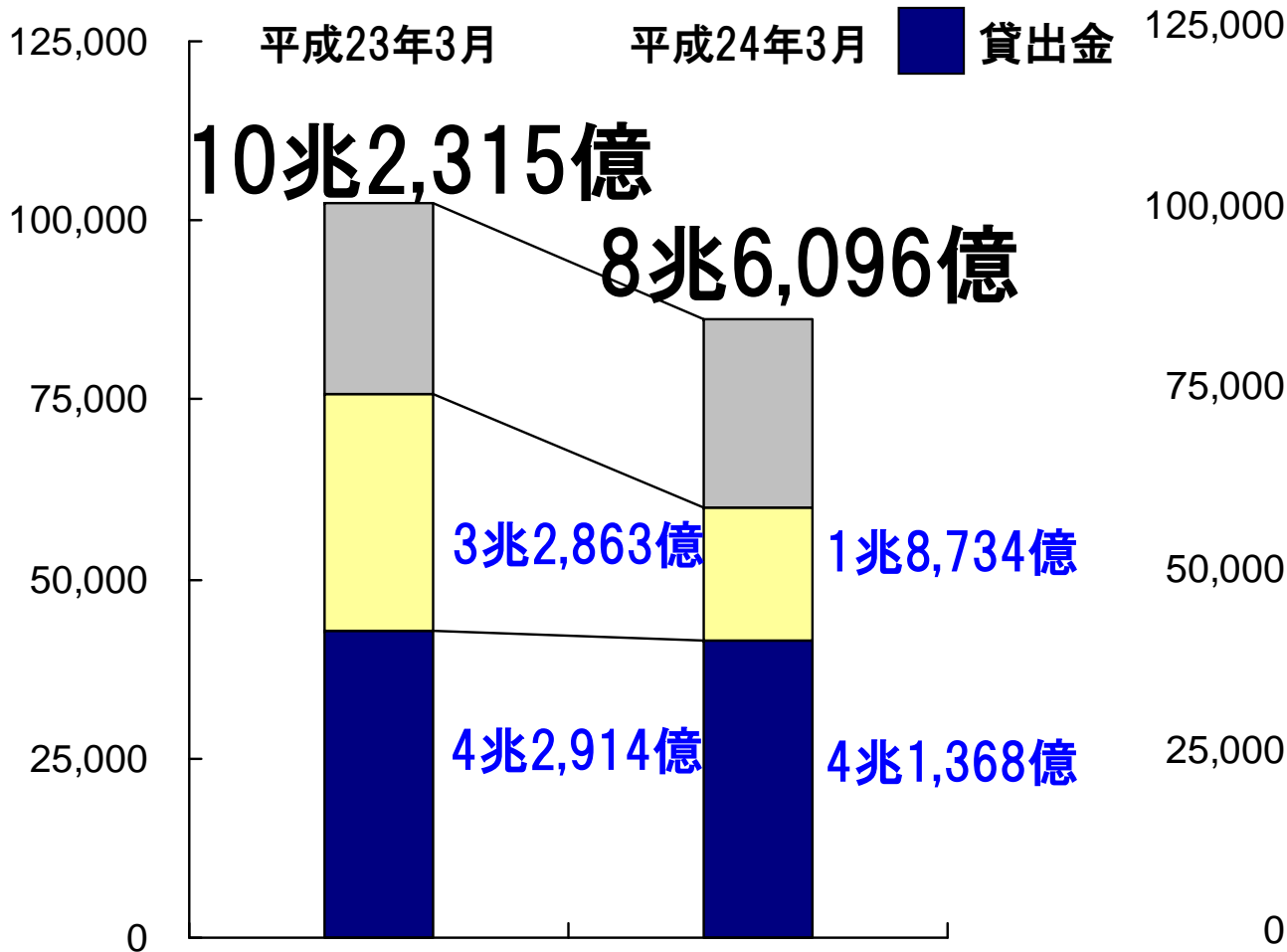
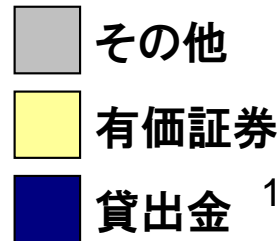
与信関連費用加算後 実質業務純益



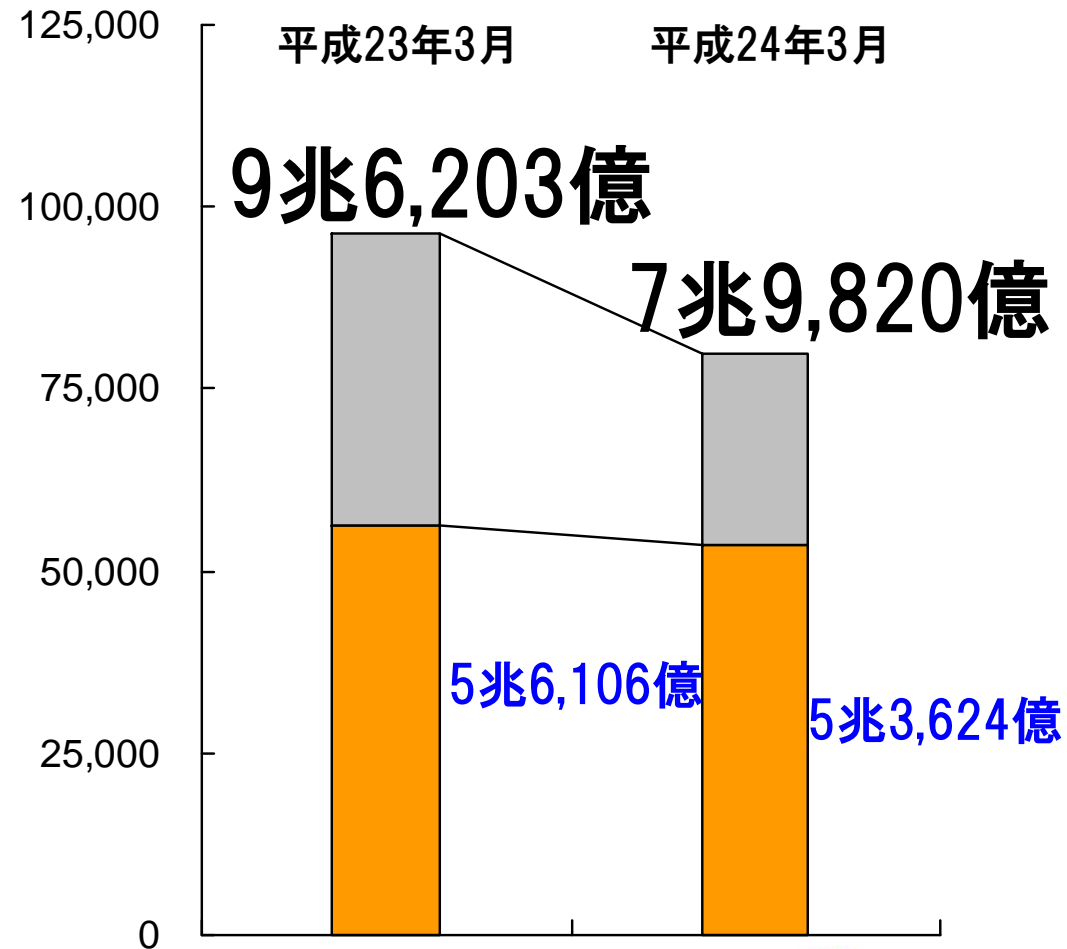
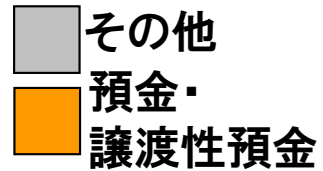
資産・負債：

貸出金は、ノンコア資産の圧縮や改正貸金業法の影響により減少
有価証券による運用は抑制的

資産



負債



主要な業務資産：

新規実行は増加基調。「新生銀行カードローン レイク」は順調な滑り出し

個人向け無担保ローン残高

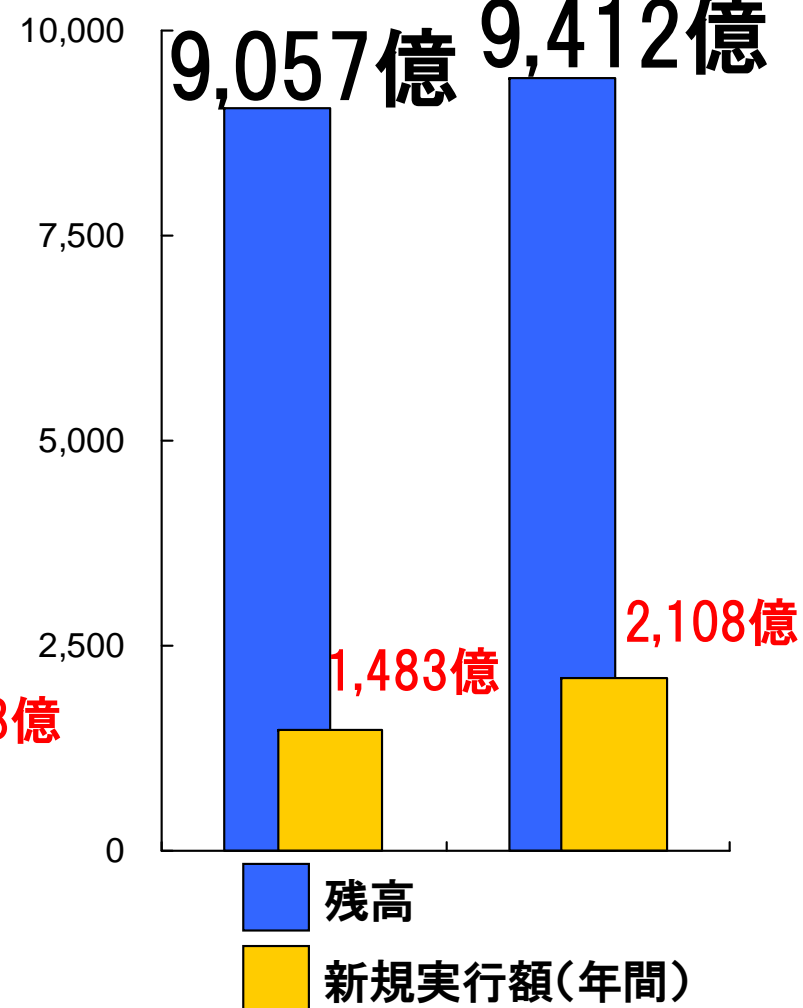
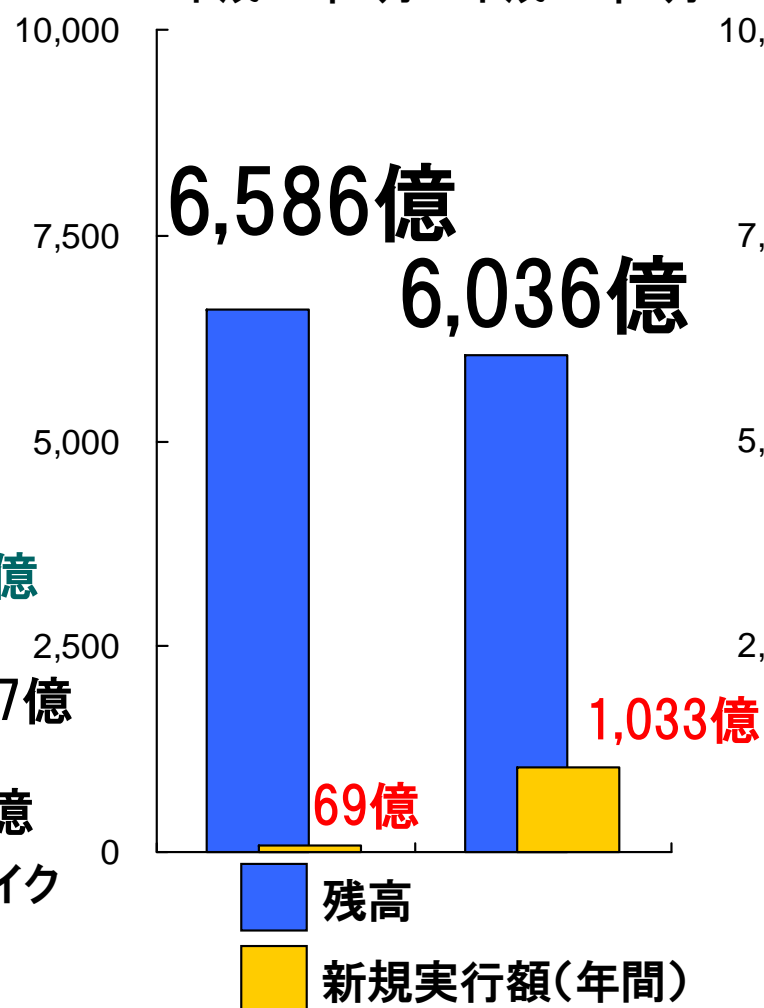
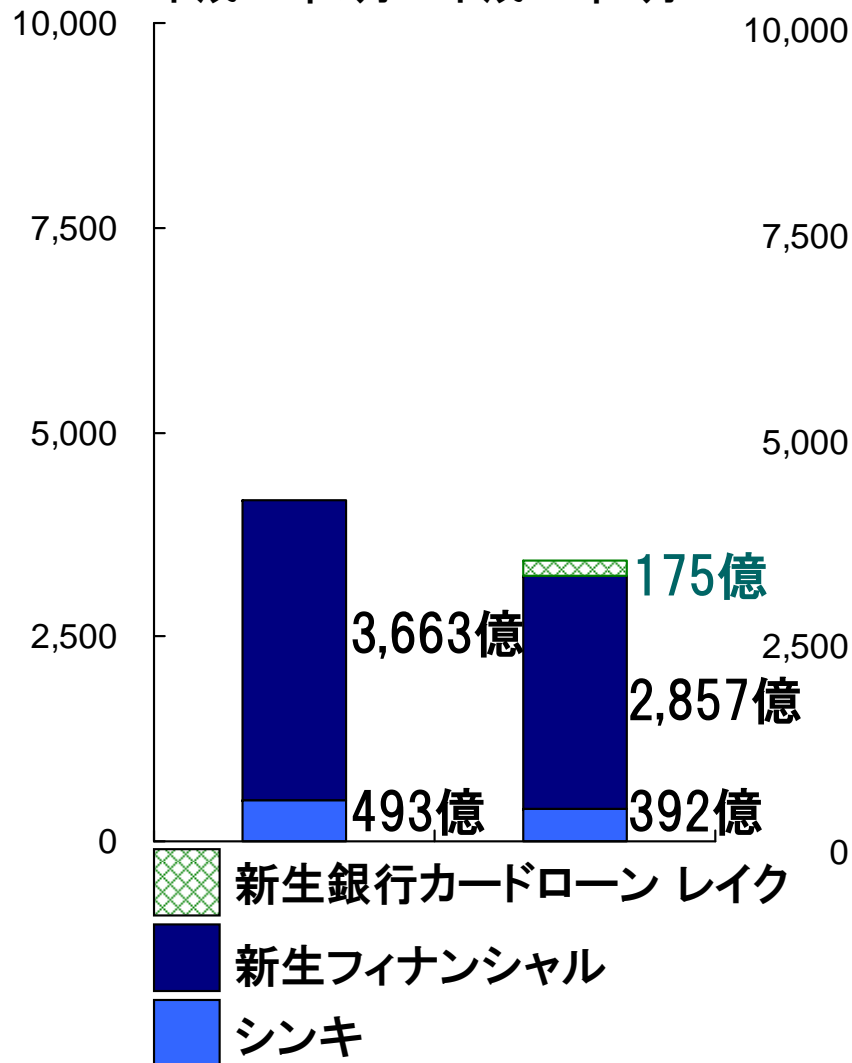
不動産ノンリコースファイナンス

住宅ローン

平成23年3月 平成24年3月

平成23年3月 平成24年3月

平成23年3月 平成24年3月

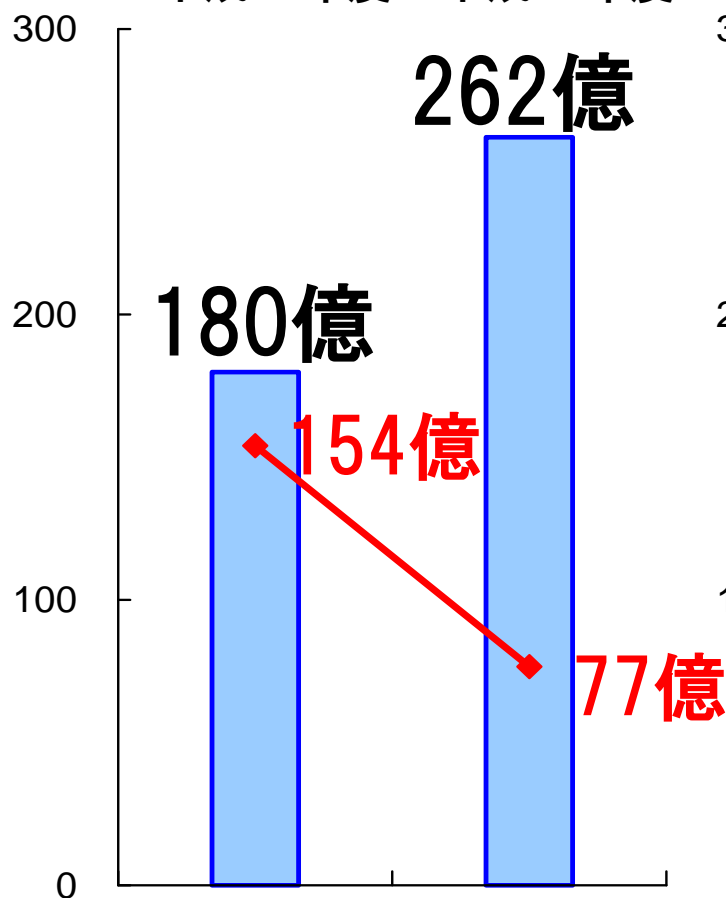


過払利息返還:

新生フィナンシャル、シンキは将来の過払リスクを払拭すべく
十分な利息返還損失引当金を繰入

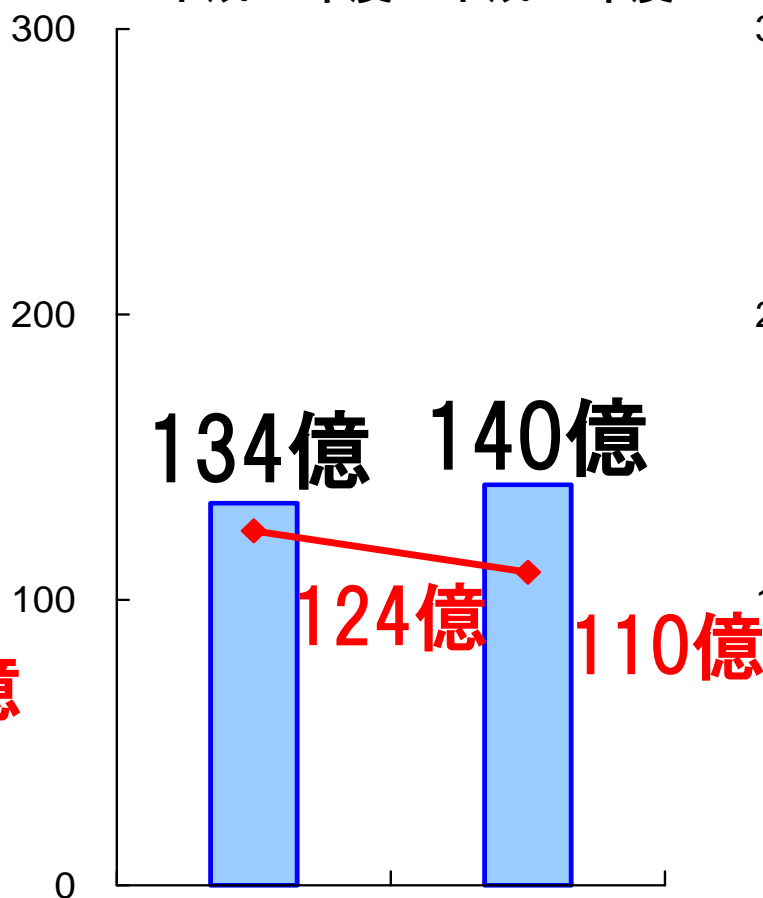
新生フィナンシャル

平成22年度 平成23年度



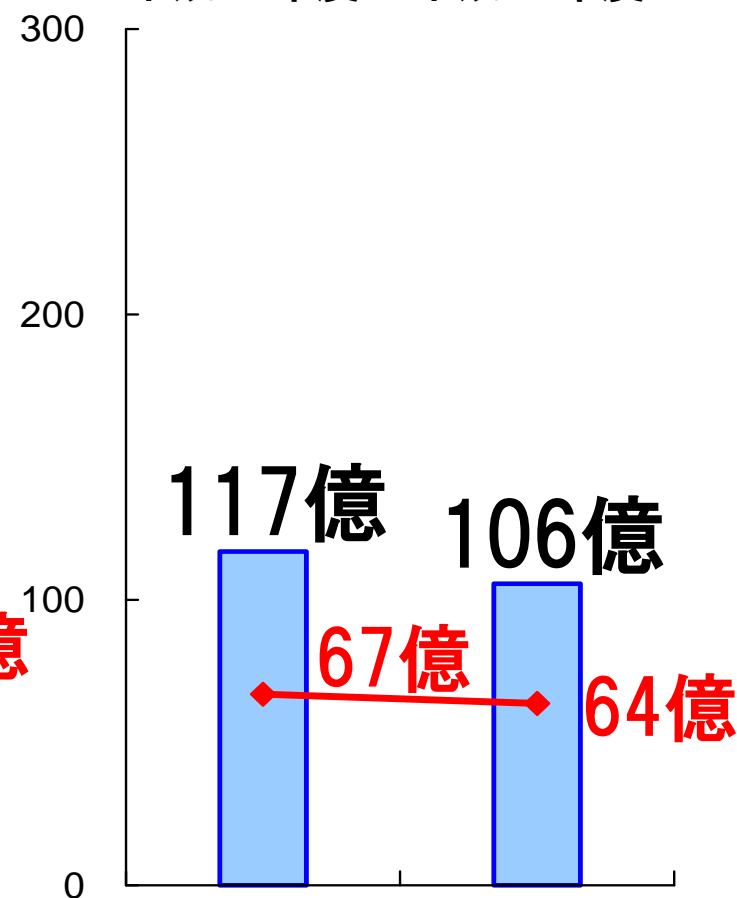
シンキ

平成22年度 平成23年度



アプラスフィナンシャル

平成22年度 平成23年度



■ 利息返還損失引当金

◆ 引当金目的の使用額等

ノンコア資産:

中期経営計画の削減目標を前倒して達成

ノンコア資産

平成23年3月

平成24年3月

中期経営計画
(平成25年3月)
5,430億

6,187億

4,635億

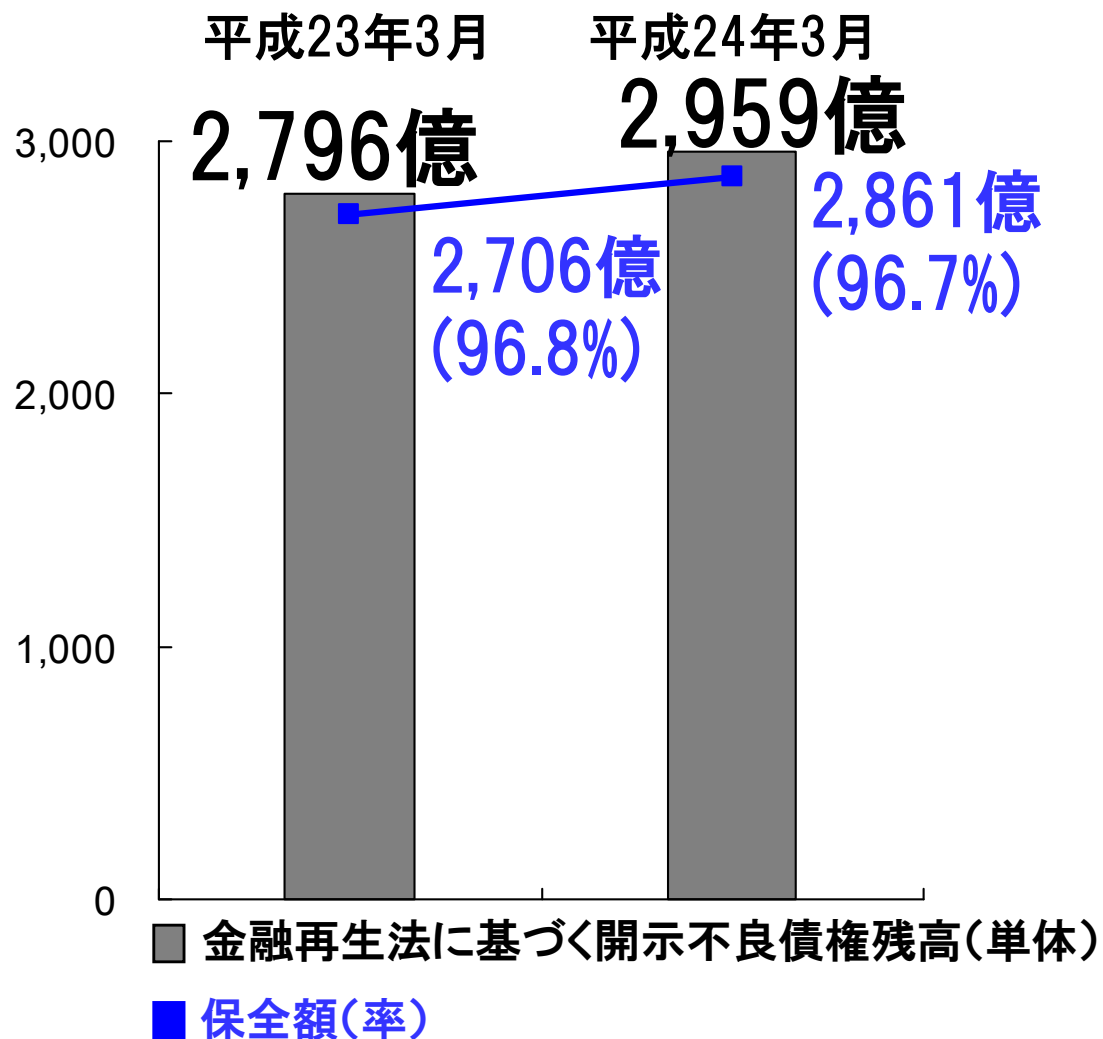
ノンコア資産:

- ・投資適格社債投資
- ・アセットバック投資
- ・ウェルスマネジメント
- ・PEファンド投資
- ・不動産投資
- ・国内購入住宅ローン
- ・CLO
- ・その他

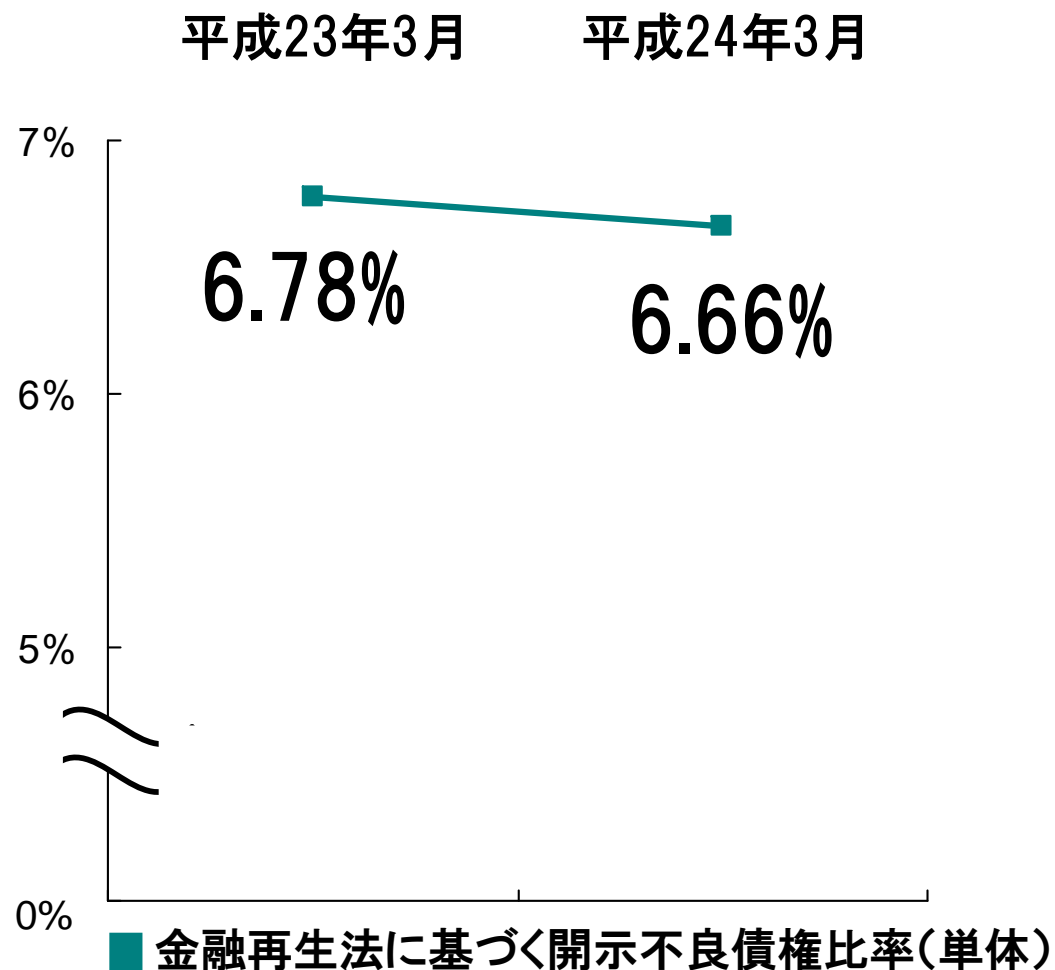
資産の質：

不良債権比率の改善、高い保全率を維持

不良債権残高と保全額(率)



不良債権比率



資本：

自己資本比率は十分に適正な水準

自己資本関連情報

	平成23年3月	平成24年3月
基本的項目 (Tier I)	5,167億円	5,371億円
補完的項目 (Tier II)	2,318億円	1,970億円
控除項目	(986億円)	(1,072億円)
自己資本金額	6,499億円	6,269億円
リスクアセット	6兆6,537億円	6兆1,025億円
自己資本比率	9.76%	10.27%
Tier I 比率	7.76%	8.80%

配当金：

■ 期末配当金

1株につき 1円00銭

平成24年度業績予想:

- 連結当期純利益：510億円
- 単体当期純利益：220億円
- 期末配当：1株につき 1円00銭

